

様式例10 指定管理者制度活用事業 評価シート

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市男女共同参画センター	評価対象年度	平成25年度 7～3月
事業者名	・事業者 TEPCOパブリックサービス ・代表者 株式会社キャリアライズ 代表取締役社長 山田啓文 東京都中央区八重洲1丁目3番22号 ・構成員 東電タウンプランニング株式会社 代表取締役社長 青柳光広 東京都目黒区目黒2丁目10-11	評価者	人権・男女共同参画室長
指定期間	平成25年7月1日～平成28年3月31日	所管課	市民・こども局人権・男女共同参画室

2. 事業実績

利用実績	<p><b>【男女共同参画推進事業】</b></p> <p><b>1 調査研究・啓発事業</b></p> <p>(1) 政策・意思決定過程に参画する女性へのヒアリング調査及びイベントの開催                  (2) 男女共同参画の視点でつくる避難所運営ガイドの製作(計2,000部発行、平成26年4月より配布)。                  (3) 他団体との協働・連携強化を通じた地域課題の調査研究・男女共同参画事業</p> <p><b>2 相談事業</b></p> <p>(1) 女性の総合相談                  ・電話相談:2,147件(平成24年度2,104件)                  ・面接相談(一般相談):40件(平成24年度29件)、面接相談(法律相談):39件(平成24年度50件)                  (2) 再就職希望者のための個別キャリア相談                  再就職・転職、就労継続を希望する市内在住・在勤・在学の女性を対象として、月4日/1日につき2枠で実施した(延べ97回、延べ83名参加)。※年度実績                  (3) 「求人紹介付個別相談」(キャリアサポートかわさき出張相談)                  相談員、求人開拓員の計2名で相談者1名に対して面接相談形式で実施した(計56回、延べ33名参加、就業実績57.9%)。※年度実績                  (4) DV被害者支援の拡充と民間シェルター運営法人や市民活動グループへの支援                  ・DV被害者支援のサポートグループ相談実施(計8回、延べ40名参加)※年度実績                  ・配偶者暴力防止月間(11月)に合わせて被害者の自立支援のための物資を募集。DV被害者支援事業物資提供(計192名から3,250点)                  ・シェルター入所者実態調査を実施し、『シェルター入居者生活実態調査報告書(NPO法人ウイメンズハウス・花みずき)』、『シェルター入居者生活実態調査報告書(NPO法人グループ・ビボ)』を製作                  ・パープルリボンプロジェクトとして、デートDV予防啓発パネル製作、パープルリボンしおり配布(計36,735枚)※年度実績                  ・自助グループへの支援として、グループ相談室の無料提供(月2回まで)、活動団体に関する情報発信等を実施                  ・母親同士で支えあえる地域づくりを目的とした子育てほっとサロンの実施(計25回、大人延べ724名参加、子ども延べ365名参加)</p>																		
	<p><b>3 情報提供事業</b></p> <p>(1) ホームページによる情報提供                  アクセス件数 74,109件(平成24年度46,937件)                  (2) 広報物の定期発行                  ・「すくらむ21インフォメーション」発行                  当月及び前月開催の講座・イベントの案内、男女共同参画や事業概念の紹介等で毎月発行                  発行部数1,300部/月(11-12月号以降980部)                  ・「メールマガジン」発行                  「すくらむ21インフォメーション」の内容を簡略化した情報等で毎月発行                  購読者数PC版753名 携帯版186名                  ・「すくらむ21通信」発行                  男女共同参画に関わる施策やすくらむ21が実施する事業・イベントに関する情報提供冊子                  年3回発行/発行部数5,000部</p>																		
	<p><b>4 学習・研修事業</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>講座数</th> <th>開催回数</th> <th>参加延人数</th> <th>内男性</th> <th>保育利用延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>139</td> <td>262</td> <td>2,290</td> <td>431</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>94</td> <td>206</td> <td>1,848</td> <td>410</td> <td>170</td> </tr> </tbody> </table>	年度	講座数	開催回数	参加延人数	内男性	保育利用延人数	平成25年度	139	262	2,290	431	211	平成24年度	94	206	1,848	410	170
	年度	講座数	開催回数	参加延人数	内男性	保育利用延人数													
	平成25年度	139	262	2,290	431	211													
平成24年度	94	206	1,848	410	170														
<p><b>5 新ネットワーク事業</b></p> <p>・企業との連携講座・イベントの実施(2回)、講師派遣・コーディネーターの派遣(2件)、出前講座・研修(12件)                  ・ワーク・ライフ・バランスの推進「たかつサマーコンサート」実施(来場者267名)                  ・避難者支援「女性のための避難所ほっとサロン事業」(計9回開催、延べ118名参加)                  ・「すくらむ21まつり」の開催(来場者3,317名、参加団体50組)</p>																			

	6 施設運営・管理事業 施設利用状況												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用件数</th> <th>利用者数</th> <th>稼働率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>3,857</td> <td>89,981</td> <td>48.9</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>3,680</td> <td>91,804</td> <td>48.1</td> </tr> </tbody> </table>	年度	利用件数	利用者数	稼働率	平成25年度	3,857	89,981	48.9	平成24年度	3,680	91,804	48.1
	年度	利用件数	利用者数	稼働率									
平成25年度	3,857	89,981	48.9										
平成24年度	3,680	91,804	48.1										
※講座・イベントによる来館者は含まれない。													
収支実績	<p>( )内は平成25年度予算額</p> <p>●収入の部 決算額=125,202千円(125,835千円)予算額に占める割合【98.7%】  【委託料=108,526千円(108,526千円)【100%】、利用料金収入=12,547千円(14,513千円)【86.5%】、その他収入=1,382千円(1,044千円)【132.4%】、自主事業収入=2,747千円(1,752千円)【156.8%】】</p> <p>●支出の部 決算額=127,180千円(125,835千円)予算額に占める割合【99.9%】  【事業費支出=19,227千円(19,405千円)【99.0%】、管理費等支出=105,206千円(104,678千円)【100.5%】、自主事業支出=2,747千円(1,752千円)【156.7%】】</p> <p>※年度途中での指定管理者再指定があったため、指定管理者変更前と後での正確な数値の算出ができず、年度単位での収支実績とした。</p>												
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページによる効率的・効果的な情報発信を行うため、アクセスのしやすさ、検索のしやすさを利用者の声を参考に改善を行い、結果的にアクセス数は前年度比で157.8%上昇した。</li> <li>・窓口予約のみであった第3研修室をふれあいネットからの予約形式に変更し、利用者が利用しやすい環境整備を行った。</li> <li>・利用者から貸出しの要望が多かったノート型パソコンの有料貸出を開始し、プロジェクトと併せた利用促進に繋げた。</li> <li>・アンケート調査で多くの意見があがった煩雑な手続きが発生する持込電源使用料を廃止し、利用しやすい環境を整えた。</li> <li>・利用率向上を目的とした企業及び団体向けの販促チラシを作成した。</li> </ul>												

### 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	9	3	5.4
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	9	3	5.4
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由) ・利用者満足度：来館者アンケート及び日々の利用者からの要望に適切に対応し、ホームページの更新、設備面等の改善を行っている。 ・事業成果：当初の事業目的を十分に達成し、講座等実施後の効果測定を行っている。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	9	4	7.2
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	9	3	5.4
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3	2.4
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) <b>効率的・効果的な支出</b> ・水光熱費の値上げに伴い、使用量に大きな変動はないものの施設維持管理費が計画より上昇している。事務経費等の削減による努力は行った上で計画を上回る支出となっている。ただし、講座回数を前年度比148.2%(228件→318件)増やしているが、収支はほぼ計画通りと非常に効率的かつ効果的な支出ができています。 <b>収入の確保</b> ・施設利用料金収入は前年度までの閉鎖期間の影響で計画未満の額であるが、受講者数の増加に伴い保育利用者も増加していること等から その他収入が増加している。また、自主事業においては、計画を大きく上回る収入を得られており、評価に値する。					

サービス向上及び業務改善	適切な事業の実施 (調査研究・啓発事業)	提供すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	3	4	2.4
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切な事業の実施 (相談事業)	提供すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	3	4	2.4
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切な事業の実施 (情報提供事業)	提供すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	3	4	2.4
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切な事業の実施 (学習・研修事業)	提供すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	3	5	3
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切な事業の実施 (新ネットワーク事業)	提供すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	3	4	2.4
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切な事業の実施 (自主事業、その他事業)	提供すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	3	4	2.4
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
業務改善によるサービス向上	実施計画と実際の事業実施内容に「ずれが生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	7	4	5.6	
	業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	7	3	4.2	
	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
<p><b>調査研究・啓発事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「男女共同参画の視点でつくる避難所運営ガイド」の製作、平成24年度製作「女性の視点で作った防災手帖(シニア)」の配布(2,875冊)、平成24年度製作「ひとり暮らしの女性のための防災BOOK(若年女性版)」の配布(1,880冊)、「政策・意思決定過程に参画する女性へのヒアリング調査」(女性のキャリアアップモデルインタビューとしてホームページ掲載)等と多岐に渡る調査研究を行っており、男女共同参画社会の実現に向けた取組の参考となる事業実施ができています。</li> </ul> <p><b>相談事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談件数は2,226件(平成24年度2,104件)と増加しており、パープルリボンプロジェクトによるしおり配布(計36,735枚配布)による広報活動の効果が表れている。また、就職希望者のための個別キャリア相談、求人紹介付個別相談(キャリアサポートかわさき主張相談)による女性の就職支援を積極的に実施している。その他、人権・男女共同参画室が主導となって試行実施した男性相談において、試行実施に係る協力を行った。</li> </ul> <p><b>情報提供事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見やすさを重視したホームページ改良を進め、アクセス件数が74,109件(平成24年度46,937件)と前年度比157.8%と大幅に上昇した。また、広報物の定期発行、メディアを活用した講座等の宣伝も数多く行った。</li> </ul> <p><b>学習・研修事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い年齢層に対応した多様な講座・イベント等を開催しており、開催回数(前年度比139.4%)、参加延人数(前年度比141.1%)と増えている。また、講座満足度91.6%(満足+まあ満足)と非常に高い数値であり、効果的な講座実施が行われている。</li> </ul> <p><b>新ネットワーク事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所・団体等と協働し、積極的な会議出席による情報提供を行い、それを契機として市内工場協会が女性の活躍推進に取組み始めるなど成果を上げている。また、市民向けイベントとして“音楽×ワーク・ライフ・バランス”をテーマに「たかつサマーコンサート」の実施、東日本大震災による避難者の支援「女性のための避難者ほっとサロン事業」の開催、第9回すくらむ21まつり(来場者数3,317名)等の事業を展開した。</li> </ul> <p><b>自主事業、その他事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「現役・次世代がつながる女性活躍応援事業」(内閣府男女共同参画局から委託)で、事業者の協力を得て13社に取材を実施。結果を踏まえて、中小企業の経営者・人事担当者向けの女性の活躍応援のための支援ガイド「新たな変化に対応し社会に必要とされる企業になろう!～女性の力でブレークスルー～」の製作・発行、各種研修の実施、高校教員向けキャリア教育支援資料の作成を行った。他も川崎市市民・子ども局子ども本部からの委託で「子育てに係るワーク・ライフ・バランスセミナー」の実施、定期開催セミナー(有料講座)を実施し、当初計画から(+995千円)の収支状況となった。</li> </ul> <p><b>業務改善によるサービス向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改善が見込める事業・設備等については、施設利用者の声を参考に改善を行った。主な例として、利用者の利便性向上を目的として、第3研修室へのふれあいネット導入、ノート型パソコンの有料貸出、企業・団体向け販促チラシの作成等を行った。また、サービス向上を目的としたセンター勤務者職員での全体会議(週1回)、業務知識・スキル習得を目指した社内勉強会(月2回程度)を実施している。</li> </ul> <p><b>利用者の意見・要望への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通じた講座受講者へのアンケート実施(回答数計1779件)及び11月中に施設アンケートを実施(回答数計232件)し、意見・要望を適切に収集しており、意見・要望を踏まえて改善点等を確認・協議し、年間を通じて事業・設備等の改善を行っている。</li> </ul>					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2	
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか				
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	3	3	1.8	
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか				
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4	
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか				
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	3	3	1.8	
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか				
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	3	3	1.8	
(評価の理由) ・月初めに連絡調整会議を実施し、前月の事業実施状況報告、当月の事業実施予定報告、抱える課題等について人権・男女共同参画室と緊密な情報共有を行っている。 ・危機管理マニュアルを作成し、不測の事態が生じたときに万全の体制がとれるよう整備されている。また、事件・事故等発生時には随時人権・男女共同参画室と情報共有を行い、対応策を協議している。						
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4	
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。				
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	4	4	
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか				
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか				
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか				
	(評価の理由) ・法令点検、仕様書に定める定期点検の他、指定管理者独自様式の管理チェックシートを活用した不具合・危険箇所の確認、自主点検による安全確認を実施しており、不具合等を見落とさない体制が十分に整備されている。 ・日中は警備員が定期巡回を実施しており、事件・事故等に繋がる要因がないか確認を行っている。 ・築約40年の施設にも関わらず、外観・館内の美観が保たれている。日常清掃では作業員に「日常清掃実施報告書」を作成させ、施設管理運営責任者が内容確認を実施する。また、定期清掃(特別清掃含む)でも、原則立会いを行い、安全に留意した管理を行っている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	71.2点	評価ランク	B
-------	-------	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>充実した内容での多様な講座・イベント等の実施、各種相談事業、情報提供、男女共同参画の視点での防災に取組む等、川崎市の男女共同参画推進の拠点施設としての機能を十分に果たしている。</li> <li>実施した講座は概ね好評であり、講座満足度91.6%からも見て取れる。前年度比で講座実施回数が大きく増加しているにも関わらず、受講者から高水準の評価を受けていることは評価に値する。</li> <li>製作した「男女共同参画の視点でつくる避難所運営ガイド」は、既存マニュアル等に不足している男女共同参画の視点を盛り込んだ内容であり、避難所運営に欠かせない学習教材として活用できる素材だと評価できる。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> <li>講座受講者数も増加傾向にあるが、未だ川崎市男女共同参画センターの知名度は低く、来館者アンケートにも広報活動を活発にとの意見が出されている。知名度を高めるため、更なる広報活動が望まれる。</li> <li>「男性にとつての男女共同参画の推進」は男女共同参画社会の形成に欠かせない重要な課題であり、現在も取組んでいるが、各年代の男性を対象とした更なる啓発活動を期待する。</li> <li>川崎市男女共同参画センターを利用しない方や、利用したことはあるがその後利用をしていない方等を対象に調査を行う等、普段利用しない方のニーズを開拓することで、利用者増が見込めるよう更なる事業改善に期待する。</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------